

第7期

第7期中間見直し

第3章 計画の進行管理

本計画に定める施策は、P D C A（計画→実行→評価→改善）のサイクルに基づいた着実な推進を図る。  
 そのため、各分野に数値目標を設定し、達成状況を原則として毎年度把握して、医療審議会保健医療計画部会において、推進方策の内容や実施方法の妥当性を検証する。そのうえで、課題を抽出し、施策の内容・方法の見直しを行うなど、その進行管理に的確に取り組む。  
 また、数値目標のほかに、各分野の医療体制・施策効果等に関する全国統計から得られる指標を用いて、本計画の進捗を客観的に評価することとする。

全県の数値目標一覧

部	章	項目	数値目標
保健医療提供体制の基盤整備	保健医療・介護従事者	看護職員	○看護職員数(保健師・助産師含む) (常勤換算数) 57,691人 (2016(H28)) → 60,421~63,937人 (2023) ○特定行為研修を修了した看護師数 (延人数) 182人 (2017(H29)) → 884人 (2023)
		保健師	○保健師数(常勤換算数) 1,528人 (2016(H28)) → 1,818人 (2023)
		助産師	○助産師数(常勤換算数) 1,299人 (2016(H28)) → 1,748人 (2023)
		音楽療法士・園芸療法士	○兵庫県音楽療法士の認定者数 365名 (2016(H28)) → 505名 (2023) ○兵庫県園芸療法士の認定者数 189名 (2017(H29)) → 279名 (2023)
地域連携体制の構築	地域医療連携体制の構築	○地域医療支援病院を確保する圏域数 7圏域 (2018 (H30)) → 8圏域 (全圏域) (2023)	
5疾病5事業及び在宅医療の医療連携体制の構築	救急医療	○救急医療電話相談 (# 7 1 1 9) の実施市町 神戸市 (2017(H29)) → 県全域(2023)	
	小児医療 (小児救急を含む)	○小児救急電話相談時間 (# 8 0 0 0) 24時まで (2017(H29)) → 翌朝8時まで(2018(H30)) ○小児向け在宅医療関係研修会等の実施数 2回 (2016(H28)) → 3回以上 (2023)	
	災害医療	○災害拠点病院の業務継続計画の策定率 33.3% (2016(H28)) → 100% (2019(H31)) ○統括DMA Tの災害拠点病院への配置 14箇所 (2017(H29)) → 18箇所(2023) ○EM I Sの入力訓練回数 年32回 (2016(H28)) → 年35回以上 (2023)	
	周産期医療	○周産期死亡率 2.8 (2016(H28)) → 減少 (2023) ○災害時小児周産期リエゾン認定者数 3人 (2016(H28)) → 12人 (2019(H31))	

第3章 計画の進行管理

(同左)

全県の数値目標一覧

部	章	項目	数値目標
保健医療提供体制の基盤整備	保健医療・介護従事者	看護職員	○看護職員数(保健師・助産師含む) (常勤換算数) 57,747人 (2018(H30)) → 67,330~67,357人 (2023(R5)) ○特定行為研修を修了した看護師数 (延人数) 311人 (2018(H30)) → 884人 (2023(R5))
		保健師	○保健師数(常勤換算数) 1,597人 (2018(H30)) → 1,818人 (2023(R5))
		助産師	○助産師数(常勤換算数) 1,381人 (2018(H30)) → 1,748人 (2023(R5))
		音楽療法士・園芸療法士	○兵庫県音楽療法士の認定者数 412名 (2020(R2)) → 505人 (2023(R5)) ○兵庫県園芸療法士の認定者数 225名 (2019(R1)) → 279人 (2023(R5))
地域連携体制の構築	地域医療連携体制の構築	○地域医療支援病院を確保する圏域数 8圏域(2018(H30)) → 8圏域(全圏域) (2023(R5))	
5疾病5事業及び在宅医療の医療連携体制の構築	救急医療	○救急医療電話相談 (# 7 1 1 9) の実施市町 神戸市、芦屋市(2019(R1)) → 県全域(2023(R5))	
	小児医療 (小児救急を含む)	○小児救急電話相談時間 (# 8 0 0 0) (同左) ○小児向け在宅医療関係研修会等の実施数 年2回 (2019(R1)) → 年3回以上 (2023(R5))	
	災害医療	(同左)	
	周産期医療	(同左)	

5 疾病 5 事業 及 び 在 宅 医 療 の 医 療 連 携 体 制	へき地医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県で養成するへき地等勤務医師数 57人(2017(H29))→158人(2023)</li> <li>○へき地等勤務医師の県内へき地定着数 50人(2017(H29))→60人(2023)</li> </ul>		へき地医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県で養成するへき地等勤務医師数 <u>107人(2020(R2))</u>→158人(2023(R5))</li> <li>○へき地等勤務医師の県内へき地定着数 <u>49人(2020(R2))</u>→60人(2023(R5))</li> </ul>
	がん対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がんによる年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万対) 2021年値で全国平均より5%以上低い状態を実現</li> <li>○がんによる年齢調整罹患率(人口10万対) 2020年値で全国10位以内を実現</li> <li>○男性成人の喫煙率 24.8%(2016(H28))→19%(2022)</li> <li>○女性成人の喫煙率 7.1%(2016(H28))→4%(2022)</li> <li>○未成年者の喫煙率 <ul style="list-style-type: none"> <li>0.1%(中1女子)</li> <li>3.1%(高3女子)</li> <li>0.0%(中1男子)</li> <li>2.0%(高3男子)</li> </ul> </li> </ul>	(2016(H28))→0%(2022)	がん対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がんによる年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万対) (同左)</li> <li>○がんによる年齢調整罹患率(人口10万対) (同左)</li> <li>○男性成人の喫煙率 (同左)</li> <li>○女性成人の喫煙率 (同左)</li> <li>○未成年者の喫煙率 (同左)</li> </ul>
	脳血管疾患対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がん検診受診率 35.9~40.7%(2016(H28))→50%(2022)</li> <li>○精密検査受診率 66.0%~81.9%(2015(H27))→90%以上(2021)</li> <li>○がん検診受診率 961(2016(H28))→増加(2022)</li> <li>○緩和ケア研修修了者数 4,027人(2016(H28))→6,400人(2022)</li> <li>○がん性疼痛緩和指導管理料届出医療機関数 358(2016(H28))→550(2022)</li> </ul>		脳血管疾患対策	(同左)
	心血管疾患対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○脳血管疾患による年齢調整死亡率の引き下げ 男性：36.9(2015(H27))→減少(2020) 女性：19.1(2015(H27))→減少(2020)</li> </ul>		心血管疾患対策	(同左)
	糖尿病対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○急性心筋梗塞による年齢調整死亡率の引き下げ 男性：18.5(2015(H27))→減少(2020) 女性：7.6(2015(H27))→減少(2020)</li> <li>○糖尿病による年齢調整死亡率の引き下げ 男性：6.0(2015(H27))→減少(2020) 女性：2.6(2015(H27))→減少(2020)</li> <li>○特定健診受診率 46.5%(2015(H27))→70%(2022)</li> </ul>		糖尿病対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○糖尿病による年齢調整死亡率の引き下げ (同左)</li> <li>○特定健診受診率 <u>49.6%(2017(H29))</u></li> </ul>

5 疾 病 5 事 業 及 び 在 宅 医 療 の 医 療 連 携 体 制	精神疾患対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3ヶ月未満入院患者数 2,024人(2016(H28))→2,164人(2020)</li> <li>○3ヶ月以上1年未満入院患者数 1,583人(2016(H28))→1,730人(2020)</li> <li>○1年以上入院患者数 (65歳以上) 3,762人(2016(H28))→3,535人(2020) (65歳未満) 3,112人(2016(H28))→2,488人(2020)</li> <li>○地域移行に伴う基盤整備量 (65歳以上) - →718人(2020) (65歳未満) - →649人(2020)</li> <li>○早期退院率 (3ヶ月時点) 52.8%(2016(H28))→69.0%(2020) (6ヶ月時点) 81.0%(2016(H28))→84.0%(2020) (1年時点) 89.3%(2016(H28))→90.0%(2020)</li> <li>○保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置 10圏域(2016(H28))→全ての障害保健福祉圏域(2020)</li> <li>○年間自殺者数 942人(2016(H28))→800人以下(2022)</li> </ul>	5 疾 病 5 事 業 及 び 在 宅 医 療 の 医 療 連 携 体 制	精神疾患対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3ヶ月未満入院患者数 <u>2,495人(2019(R1))</u>→<u>2,166人(2023(R5))</u></li> <li>○3ヶ月以上1年未満入院患者数 <u>1,807人(2019(R1))</u>→<u>1,757人(2023(R5))</u></li> <li>○1年以上入院患者数 (65歳以上) <u>3,643人(2019(R1))</u>→<u>3,125人(2023(R5))</u> (65歳未満) <u>2,327人(2019(R1))</u>→<u>2,074人(2023(R5))</u></li> <li>○地域移行に伴う基盤整備量 (65歳以上) <u>487人(2019(R1))</u>→<u>1,130人(2023(R5))</u> (65歳未満) <u>804人(2019(R1))</u>→<u>1,080人(2023(R5))</u></li> <li>○早期退院率 (3ヶ月時点) <u>62.5%(2019(R1))</u>→<u>69.0%(2023(R5))</u> (6ヶ月時点) <u>82.8%(2019(R1))</u>→<u>86.0%(2023(R5))</u> (1年時点) <u>89.9%(2019(R1))</u>→<u>92.0%(2023(R5))</u></li> <li>○保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置 <u>8圏域(2019(R1))</u>→全ての障害保健福祉圏域(2023)</li> <li>○年間自殺者数 <u>877人(2019(R1))</u>→<u>760人以下(2023(R5))</u></li> </ul>
	在宅医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>○訪問診療を実施している病院・診療所数 1,688箇所(2016(H28))</li> <li>○在宅療養支援病院・診療所数 912箇所(2017(H29).4)</li> <li>○在宅療養歯科診療所数 573箇所(2017(H29).4)</li> <li>○24時間対応体制加算の届出訪問看護ステーション数 495箇所(2017(H29).4)</li> </ul> <p style="text-align: center;">→ 対2017比 115%(2020) 130%(2023) 140%(2025)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○機能強化型訪問看護ステーションを有する圏域の数 在宅医療圏域 18圏域(2017(H29))→全40圏域(2023)</li> <li>○退院支援加算の届出病院・診療所数 215箇所(2017(H29).4) →訪問診療需要の増加比率に応じた箇所数等の増加</li> <li>○地域包括ケア病床を有する圏域の数 在宅医療圏域 36圏域(2017(H29))→全40圏域(2023)</li> <li>○かかりつけ医のいる人の割合 73.5%(2017(H29)) → 80%(2023)</li> <li>○在宅看取り率の増加 25.3%(2016(H28))→27%(2023)</li> </ul>		在宅医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>○訪問診療を実施している病院・診療所数 1,688箇所(2018(H30))→2,195箇所(2023(R5))</li> <li>○在宅療養支援病院・診療所数 <u>986箇所(2020(R2).4)</u>→<u>1,186箇所(2023(R5))</u></li> <li>○在宅療養歯科診療所数 <u>446箇所(2020(R2).4)</u>→<u>505箇所(2023(R5))</u></li> <li>○24時間対応体制加算の届出訪問看護ステーション数 <u>652箇所(2020(R2).4)</u>→<u>644箇所(2023(R5))</u></li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○機能強化型訪問看護ステーションを有する圏域の数 在宅医療圏域 <u>24圏域(2020(R2))</u>→全40圏域(2023)</li> <li>○退院支援加算の届出病院・診療所数 <u>208箇所(2020(R2).4)</u> →訪問診療需要の増加比率に応じた箇所数等の増加</li> <li>○地域包括ケア病床を有する圏域の数 在宅医療圏域 <u>38圏域(2020(R2))</u>→全40圏域(2023)</li> <li>○かかりつけ医のいる人の割合 <u>74.2%(2020(R2))</u> → 80%(2023(R5))</li> <li>○在宅看取り率の増加 <u>28.2%(2019(R1))</u>→<u>29.4%(2023(R5))</u></li> </ul>

保健・医療・福祉の総合的な提供体制の構築	結核・感染症対策	結核対策	○人口 10 万対結核罹患率 15.3 (2016(H28)) → 10.0 (2021)
		エイズ対策	○年間患者・感染者届出数に占める患者割合 75.0% (2016(H28)) → 全国値以下 (2021)
	難病対策		○ (難病診療分野別) 専門病院の指定 － (2017(H29)) →難病疾患群(15 疾患群)のすべてにおいて指定 (2023)
	歯科保健医療	歯科保健	むし歯のない3歳児の割合 85.0% (2015 (H27)) → 90%以上 (2022)
			12歳児で歯肉に炎症所見を有する者の減少 4.2% (2016(H28)) → 3%以下 (2022)
40歳で現在歯数 28 歯以上 64.4% (2016(H28)) → 77%以上 (2022)			
60歳で現在歯数 24 歯以上 68.4% (2016(H28)) → 73%以上 (2022)			

保健・医療・福祉の総合的な提供体制の構築	結核・感染症対策	結核対策	○人口 10 万対結核罹患率 14.0 (2019(R1)) → 10.0 (2021(R3))
		エイズ対策	○年間患者・感染者届出数に占める患者割合 57.1% (2020(R2)) → 全国値以下 (2021(R3))
	難病対策		(同左)
	歯科保健医療	歯科保健	(同左)
			(同左)
(同左)			
(同左)			